

茨城県歴史的観光資源

No.	名称	内容	①住所(アクセス)・②問合せ先・③URL
1	借楽園	1842年に造園された「日本三名園」の一つ。梅の名所としても有名で、約100種3,000本の梅がある。日本遺産認定。	①水戸市常磐町1丁目 ②茨城県土木部都市整備課公園利用促進G TEL:029-301-4660 ③ https://twitter.com/ibaraki_tocico
2	弘道館	第9代徳川斉昭公が開設した旧水戸藩の藩校。日本遺産認定。	①水戸市三の丸1丁目6-29 ②茨城県土木部都市整備課公園利用促進G TEL:029-301-4660 ③ https://twitter.com/ibaraki_tocico
3	常磐神社・義烈館	元禄元年(1592)に水戸城主・佐竹義宣が創建。以降、藩主代々の崇拜社として信仰されていった。神殿のほか天然記念物のイチヨウの大木、義宣が奉納した兜などの文化財がある。	①水戸市常磐町1-3-1 ②029-221-0748 ③ http://komonsan.jp/
4	徳川ミュージアム	水戸徳川家に伝わった貴重な宝物類が見られる博物館。歴代藩主・夫人たちの遺愛の品や「大日本史」編纂のために集められた資料も展示されています。	①水戸市見川1-1215-1 10:00～17:00 月曜定休 ※入館料800円～(団体料金30名～) ②029-241-2721 ③ http://www.tokugawa.gr.jp/guide/
5	茨城県立歴史館	茨城県の歴史に関する資料を収集保存。徳川慶喜公ゆかりの一橋徳川家記念室も併設されている。	①水戸市緑町2-1-15 9:30～17:00 月曜定休 ※入館料150円～(団体料金20名～) ②029-225-4425 ③ http://www.rekishikan-ibk.jp/
6	回天神社・回天館	安政の大獄や桜田門外の変などで準じた1,865名の志士を祀る。境内の回天館には、幕府に降伏後、非業の死を遂げた天狗党の志士にまつわる資料を展示。	①水戸市松本町13-33 ②029-226-9028 ③ http://www.mitokoumon.com/kankou/%E5%9B%9E%E5%A4%A9%E7%A5%9E%E7%A4%BE.html
7	水戸東照宮	水戸藩初代藩主・頼房公が家康公を祀る神社として元和7年(1621年)に創建。のちに頼房公も合祀された。斉昭公が考案した洗車「安神車」などが現存する。	①水戸市宮町2-5-13 ②029-221-3784 ③ http://www.mitokoumon.com/kankou/%E6%9D%B1%E7%85%A7%E5%AE%AE.html

茨城県歴史的観光資源

8	黄門料理	当時の黄門光圀公の食文化の様子を記載している文献を、水戸の調理師故大塚屋子之吉氏が長年かけて解読し調理方法の研究を重ねて、現代人の味覚に適合するように復元した。	① ②へお問合せください ②(一社)水戸市観光コンベンション協会 TEL:029-224-0441 ③ http://www.mitokoumon.com/umaimon/list_koumon.html
9	大煙突	日立鉱山の銅精錬による煙害を防ぐため大正3年に建設され、高さ155.7メートルは建設当時世界一を誇った。平成5年に一部が崩壊し、現在は建設当時の3分の1の高さになってしまったが、現在も変わらない工都日立のシンボルとなっている。 平成31年に映画化される新田次郎の小説「ある町の高い煙突」のモデルとなっている。	①日立市宮田町(JR日立駅からバス「東河内行き」で約20分) ②日立金属(株)日立工場 TEL:0294-23-7130 ③ http://www.city.hitachi.lg.jp/kankou/003/103/jiuhhg.o.html
10	日鉱記念館	久原房之助によって明治38年に開発が始められた「日立鉱山」の歴史や日立市のシンボルである「大煙突」に関する資料等を展示する施設。	①日立市宮田町3585(JR日立駅からバス「東河内行き」で約30分) ②0294-21-8411 ③ http://www.nmm.jx-group.co.jp/museum/
11	小平記念館	日立製作所創業当時の資料や歴史的な製品、小平氏の遺品等が展示されている施設。 その中でも「5馬力誘導電動機」と「その設計図」は茨城県指定文化財となっており、日立製作所の第1号製品である。	①日立市幸町3丁目1-1(JR日立駅から徒歩で約15分) ②0294-55-0110 ③ http://www.city.hitachi.lg.jp/kankou/004/002/p000983.html
12	日立武道館 (旧共楽館)	明治末期から大正期にかけて日立鉱山の発展に伴い、鉱業都市の商業中心地として栄えた地区の中心に、従業員や地域住民の厚生・慰安施設として建築された。	①日立市白銀町2-21-15 ②0294-22-0361 ③ http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/bunkazai/tour/oku/t-5.html

茨城県歴史的観光資源

13	亀城公園(土浦城址)	土浦城の本丸と二の丸の一部を整備した公園。東櫓と西櫓は復元されている。櫓門(太鼓櫓)は、本丸にある櫓門としては関東で唯一現存するもの。	①土浦市中央1丁目1348(JR常磐線土浦駅から徒歩15分) ②土浦市商工観光課 TEL:029-826-1111 ③ http://www.tsuchiura.lg.jp
14	帆引き船	風力を利用して網を引っ張る帆引き漁法、明治13年にかすみがうら市の漁師・折本良平が考案。それまで20人以上必要だった船が2人で操業できるようになり、漁民の暮らしを大いに安定させた。昭和40年代にはいったん廃れたものの、観光帆引き船として復活。平成30年3月「霞ヶ浦の帆引き網漁の技術」が国選択無形民俗文化財に選定された。	<土浦市・かすみがうら市・行方市> ②土浦市:(一社)土浦市観光協会 TEL:029-824-8210 土浦市観光案内所 TEL:029-821-4166 土浦市役所商工観光課 TEL:029-826-1111(内線2705) かすみがうら市:かすみがうら市観光協会 TEL:029-897-1111 行方市:(一財)行方市開発公社 TEL:0299-55-3927
15	古河公方公園	公園内には旧飛田家(国指定重要文化財)と旧中山家(県指定文化財)があります。また、園内には4種類の花桃があり、開花時期には一面の桃の花を楽しめます。	①古河市鴻巣399-1(JR宇都宮線古河駅下車 タクシー約10分 徒歩約40分 東武日光線新古河駅下車 タクシー約10分 徒歩約40分) 東北自動車道 久喜ICから約30分 羽生ICから約30分 館林ICから約20分 ②0280-47-1129 ③ http://www.koga-kousya.or.jp/koga-park/
16	古河歴史博物館	古河歴史博物館は、古河城出城迹に平成2年に開館しました。周辺の景観を生かしたこの建物は、1992年の日本建築学会賞・1996年の公共建築賞を受賞しています(設計=吉田桂二)。	①古河市中央町3丁目10番56号 (JR宇都宮線古河駅下車 徒歩約20分 東北自動車道 久喜ICから約30分 羽生ICから約30分 館林ICから約30分 電話 0280-22-5211) URL https://www.city.ibaraki-koga.lg.jp

茨城県歴史的観光資源

17	鷹見泉石記念館	鷹見泉石記念館は、古河藩が藩士たちのために用意した武家屋敷の一つで、隠居後、蘭学にいそしんだ鷹見泉石が、最晩年送った家でした。	①古河市中央町3丁目11-2 (JR宇都宮線古河駅下車 徒歩約20分) 東北自動車道 久喜ICから約30分 羽生ICから約30分 館林ICから約30分 ②0280-22-5211 ③ https://www.city.ibaraki-koga.lg.jp
18	旧石岡市内の看板建築	関東大震災後、主に東京や関東周辺で用いられた。西洋の様式や意匠をもとに、在来の技術や技能によって新たに創り上げた、日本独自の庶民の建築様式である。	①石岡市 ②石岡市文化振興課 TEL:0299-43-1111 ③ http://www.city.ishioka.lg.jp/page/page001492.html
19	府中營株式会社	安政元年(1854)創業の造り酒屋。幻の酒米「渡船」を原料米とした「渡舟」を初めとして、季節限定出荷の「太平海」、代表銘柄の「府中營」が造られている。	①石岡市国府5丁目9番32号 日曜定休 ②0299-23-0233 ③ http://www.city.ishioka.lg.jp/page/page001491.html
20	北部市街地の街並み	結城市の北部市街地には、見世蔵(みせぐら)と呼ばれる、蔵造りの建造物(ほとんど江戸末期から明治期にかけての建物)や寺社仏閣が多数点在している。	①結城市結城 ②結城市役所商工観光課 TEL:0296-34-0421 ③ http://www.city.yuki.lg.jp/page/page000469.html
21	つむぎの館	結城紬のミュージアム。明治初期建造の見世蔵を改装したカフェもある。	①結城市大字結城12-2 営業時間9:30~17:00 火曜休館 ②0296-33-5633 ③ http://www.yukitumugi.co.jp/

茨城県歴史的観光資源

22	水海道風土博物館 坂野家住宅	坂野家住宅は、飯沼新田開発の頭取を務めた大生郷村の有力な名主で、その屋敷は豪農にふさわしい屋敷構えとなっている。主屋は天保9年の姿に復元され、幕府の役人を迎えるための客間もよく整えられています。「月波楼」と名付けられた書院は幕末から明治期の文人当主のもと、多くの文人墨客が訪れ、創作活動の場となりました。月波楼は当初、茅葺平屋の建物でしたが大正期に瓦葺2階建ての建物に建て替えられています。現在は水海道風土博物館として広く公開しています。	①常総市大生郷町2037番地(関東鉄道常総線水海道駅または三妻駅からタクシー利用) 休館:月曜日, 年末年始 入館料:大人300円, 児童・生徒100円 ②常総市教育委員会生涯学習課文化係 TEL:0297-23-2111 ③ http://www.city.joso.lg.jp/shigai/kanko/1420716457308.html
23	穂積家住宅	江戸時代中期【安永2年(1773)建築】の豪農住宅。主屋の他、長屋門、前蔵、衣装蔵、庭園有。高萩市指定史跡・茨城県指定有形文化財。土間や座敷などの住宅内や日本庭園の見学ができる。	①高萩市上手綱2337-1 (常磐自動車道高萩ICから車で1分) 入館無料 9時～16時 月曜休(祝日の場合翌日) 駐車台数40台 ②0293-24-0919 ③ http://www.takahagi-kanko.jp/page/page000008.html
24	旧町屋変電所	明治42年(1909)、日立鉱山が電力確保のために建設した。明治44年に、茨城電気株式会社が町屋変電所の譲渡を受け、同年12月に太田、誉田、町屋地区に電灯が灯った。県内では水戸、笠間、土浦についてのことです。町屋の人たちは「電気みだけりゃ町屋にいけ」と誇りにしていたそうである。レンガ造りで、南西側の壁の上部には、発電所からの電気を取り入れたためのフランス製の碍子が今も残されている。NHK連続テレビ小説「ひよっこ」のロケ地としても有名。	①常陸太田市西河内下町1382-1 ②常陸太田市商工観光課 (常陸太田市教育委員会文化課) TEL:0294-72-8071 ③ http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/page/page000223.html
25	野口雨情生家	明治15年、童謡詩人の野口雨情が生まれ少年期を過ごした場所。潮風を感じながら、情緒豊かに育った雨情のルーツが伺えます。	①北茨城市磯原町磯原73 (JR磯原駅から車で5分) ②0293-42-1891 ③ http://www.kitaibarakishi-kankokyokai.gr.jp/page/page000030.html

茨城県歴史的観光資源

26	五浦六角堂	近代日本美術の父である岡倉天心が、太平洋に張り出した岩盤の上に、天心自身の設計によって建てられ「観瀾亭」と名づけられた赤い六角形の形をした堂が建っています。	①北茨城市JR大津港駅から車で8分 ②0293-46-0766 ③ http://rokkakudo.izura.ibaraki.ac.jp/
27	天心記念五浦美術館	岡倉天心や横山大観をはじめとする五浦の作家たちの作品を所蔵。明治39年に日本美術院第一部(絵画)が移転し、岡倉天心や五浦の作家たちが活躍しました歴史的な地。	①北茨城市大津町椿2083 ②0293-46-5311 ③ http://www.tenshin.museum.ibk.ed.jp/
28	かさま歴史交流館井筒屋	かさま歴史交流館井筒屋は、明治中期建築で木造3階建ての歴史ある建物「旧井筒屋本館」を、建築当時の雰囲気を残しつつ、リノベーションし、笠間の歴史や観光情報の発信、市民や観光客等の交流の拠点として、平成30年4月にオープンした施設。 2階 歴史展示コーナーでは、笠間城の絵図や復元模型、パネル展示などで笠間城の歴史や昔の姿を紹介している。笠間城の他にも、笠間市の政治や経済、産業、文化等の分野で大きな業績をあげた先人達の紹介もある。	①笠間市笠間987 休館日 月曜日(祝日の場合翌日) 開館時間 9:00~22:00 ②0296-71-8118 ③ http://www.city.kasama.lg.jp/page/page009195.html
29	筑波海軍航空隊記念館	昭和20年の太平洋戦争終戦までの11年間、設置されていた「筑波海軍航空隊」の施設。現在も司令部庁舎や正門、号令台などがほぼ当時のまま残されており、平成25年に映画化された「永遠の0(ゼロ)」のロケ地にもなった。	①笠間市旭町654 休館日: 記念館は基本年中無休 (不定期休館日あり) 開館時間: 9:00~(最終入場16:00) 入館料: おとな(18歳以上)500円 こども(小学~高校生)350円 ②0296-73-5777 ③ http://www.p-ibaraki.com/tsukuba
30	石切山脈(稲田石採石場)	笠間市稲田を中心に東西8km、南北6kmにもわたる採掘現場は通称「石切り山脈」と呼ばれる。	①笠間市稲田4260-1 ②株式会社想石 稲田営業所 TEL:0296-74-2112 ③ http://www.kasama-kankou.jp/upsys_pro/index.php?code=513&mode=detail

茨城県歴史的観光資源

31	茨城県陶芸美術館	板谷波山の作品を所蔵	①笠間市笠間2345 ②0296-70-0011 ③ http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/
32	牛久シャトー	牛久シャトーは明治期の実業家、神谷傳兵衛が建てた日本初の本格的ワイン醸造場「牛久醸造場」の建物群を今に残す施設です。現存する当時の事務室、醗酵室、貯蔵庫は明治中期の煉瓦造建築としての歴史的価値の高さと産業技術史上の重要性、また明治期の意匠の資料としても価値が高いとして平成20年6月9日に国の重要文化財に指定されています。	①牛久市中央3-20-1 (JR常磐線「牛久駅」下車東口より徒歩約8分) ②029-873-3151 ③ http://www.oenon.jp/ushiku-chateau/
33	北条商店街	つくば道の出発点、商業地として発展した北条地区の街並みは、江戸末期から明治にかけて建てられた土蔵造りの店蔵が続く。宮本家店蔵は文化庁登録有形文化財。	①つくば市北条 ②080-6788-0693 ③ http://www.tsukuba-hojo.jp/
34	つくば霞ヶ浦りんりんロード	大正7年に開通し、昭和62年に廃線となった筑波鉄道の線路跡で、自転車道として活用されている。北条駅跡にはホームが残っている。	①つくば市北条(ホームが残っている) ②茨城県企画部地域計画課 TEL:029-301-2735 ③ https://www.ringringroad.com/
35	那珂湊反射炉跡	安政4年(1857)に完成した水戸藩営大砲鋳造所。オランダの技術により大型金属溶解炉が2基建設され、約20門の大砲が鋳造された。元治甲子の乱(1864・天狗党の乱)で破壊されたが、昭和12年に模型が復元された。	①ひたちなか市栄町1-10 ②ひたちなか市観光振興課 TEL:029-273-0111 ③ http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/bunkazai/ken/shiseki/12-58/12-58.html
36	鹿島神宮	鹿島神宮は、紀元前660年の創建と伝えられ、関東最古の神社であり、常陸一之宮という由緒正しい神社です。武の神である武甕槌大神を祀る鹿島神宮は、古くから皇室や藤原氏の崇敬を受け、特に江戸時代には徳川家の多大な崇敬を受け、社殿をはじめ境内の建物の多くは徳川家からの奉納になっています。	①鹿嶋市宮中2306-1 (高速バス:東京駅八重洲南口より「鹿島神宮駅」行き約2時間 下車徒歩10分 車:東関東自動車道・潮来ICより15分 電車:JR鹿島線鹿島神宮駅下車徒歩10分) ②0299-82-1209 ③ http://kashimajingu.jp/

茨城県歴史的観光資源

37	木内酒造	文政六年(1823年)、常陸の国那珂郡鴻巣村の庄屋であった木内儀兵衛が酒づくりを始めました。 藤田東湖は実父の実家が木内家よりほんの数メートルの距離にあり、また木内儀兵衛と同年代ということで頻りに木内家に入出入りしていました。さらに、藤田東湖の甥に木内儀兵衛の妹もとを嫁がせ縁戚関係となりました。	①那珂市鴻巣1257 ②029-212-5111 ③ http://kodawari.cc/
38	板谷波山記念館	日本近代陶芸の祖として数々の輝かしい功績を遺し、陶芸家として初の文化勲章を受章。その足跡を伝える記念館として、昭和55年に生家敷地内に開館しました。記念館では、波山の生家や貴重な作品や資料、遺品などとともに、東京田端の工房から移築復元された三方焚口倒焰式丸窯を見ることができます。	①筑西市甲866-1 ②0296-25-3830 ③ http://www.city.chikusei.lg.jp/data/hazan/top.html
39	荒川家住宅 (荒為)	「荒為」の屋号で明治・大正・昭和の時代を通して商都下館を代表する卸問屋です。主屋は住まいと商談の場としての座敷や洋間が増改築され、各部屋には時代を髣髴とさせるデザインが取り入れられています。	①筑西市甲929 ②0296-21-1357 ③ http://chikuloca.com/page/page000036.html
40	明治神輿	明治28年、日清戦争の戦勝記念として造られた歴史ある神輿。胴の上、四方に日章旗と軍艦旗の彫刻が施され、その間には鷹も彫刻されています。重さ1トンで北関東一の大神輿と言われていました。現在は、しのだて地域交流センターアルテリオ1階に常設展示されています。	①筑西市丙372(アルテリオ) ②筑西市観光振興課 TEL:0296-20-1160 ③ http://www.pref.ibaraki.jp/bugai/koho/kenmin/hakase/info/43/index.html
41	ワープステーション江戸	江戸時代の街並みを再現した屋外型ロケ施設。 新たに近現代のロケセットが完成し、明治から大正、昭和へと幅広い時代設定に対応。 重厚な煉瓦造りのビル	①つくばみらい市南太田1176 ②0297-47-6000 ③ http://www.warpstationedo.com/
42	名勝広浦(広浦公園)	涸沼の湖面に映る中秋の名月は「広浦の秋月」として第9代水戸藩主徳川斉昭が水戸八景の一つに選んだ。広浦からの涸沼の眺めは素晴らしく、晴れた日は鳥居ごしに筑波山を望むことができる。 町史跡に指定。	①茨城町下石崎1651 ②029-240-7124 ③ http://ibamachi-kankou.jp/see/355

茨城県歴史的観光資源

43	大洗町幕末と明治の博物館	幕末から明治期の志士や元勲たちの書画や手紙、皇室からの御下賜品などを展示しています。また、幕末から明治にかけての流れをわかりやすくまとめた映像を映像ホールでご覧いただけます。	①東茨城郡大洗町磯浜町8231-4 (東水戸道路「水戸大洗IC」より10分。 電車:大洗鹿島線「大洗駅」下車、タクシーで5分。) ②029-267-2276 ③ http://www.bakumatsu-meiji.com/
44	旧上岡小学校	明治44年築の木造校舎。平成13年に閉校後は、地元の方を中心とした「上岡小保存の会」が維持管理に尽力し、近年は建物を公開しつつ、ロケ地として活用されている。	①久慈郡大子町大字上岡957-3 (JR水郡線常陸大子駅からバスまたはタクシーで約5分) ②大子町観光商工課 TEL:0295-72-1138 ③ http://idpc.jp/kyu-uwaoka/uwaoka/
45	器而庵(きじあん) (旧外池家見世蔵)	明治29年築の呉服商の見世蔵。腰壁以外の外壁正面と妻面2階部分を黒漆喰塗とし、1階北側側面と正面に観音扉戸の窓がある。現在は漆工芸作家辻徹氏のギャラリーとして活用されている。	①久慈郡大子町大子624 (JR水郡線常陸大子駅から徒歩約5分) ②大子町観光商工課 TEL:0295-72-1138 ③ http://www.tsujitohru.jp/kijian/
46	予科練平和記念館	旧日本海軍のパイロットを養成していた部隊、海軍飛行予科練習生について展示されている施設。	①稲敷郡阿見町廻戸5-1 ②029-891-3344 ③ http://www.yokaren-heiwa.jp/index.html
47	雄翔館(ゆうしょうかん) 雄翔園(ゆうしょうえん)	海軍飛行予科練習生出身者の遺書や遺影、遺品の展示がされている雄翔館と慰霊碑が配された庭園。予科練戦没者の慰霊顕彰を目的とした施設。かつて予科練生が訓練していた土浦海軍航空隊跡にある。入館無料 無人 陸上自衛隊土浦駐屯地武器学校の敷地内にあるが、一般開放されている。	①茨城県稲敷郡阿見町青宿121-1 ②陸上自衛隊土浦駐屯地武器学校 広報援護班 TEL:029-887-1171 ③ http://www.yokaren-heiwa.jp/04guide/04yusyokan.html